

2002年・2003年の法善寺横丁の火事、2014年のジョンペン横丁の火事と大阪で歴史ある街並みが焼けた。地震も火事も起るものとしてとらえ、新世界ジャンジャン横丁をモデルとして、街並みを全壊・全焼させず、被害を最小限に抑え再生し続けることで、途切れることなく歴史を積み重ねていく街並みを守る。

守りたい木密の路地の魅力

[安心感]…車社会による近代的空間に対して、人のスケールで造られた密集した空間

[ごちゃごちゃ感]…各敷地から溢れてくる個性（看板、縁台など）に彩られる路地

[ドキドキ感]…どこに続くかわからない折れ曲がった路地、他人の領域に入っていきかのような雰囲気
木密には近代的な都市で失われつつあるものが残されている。

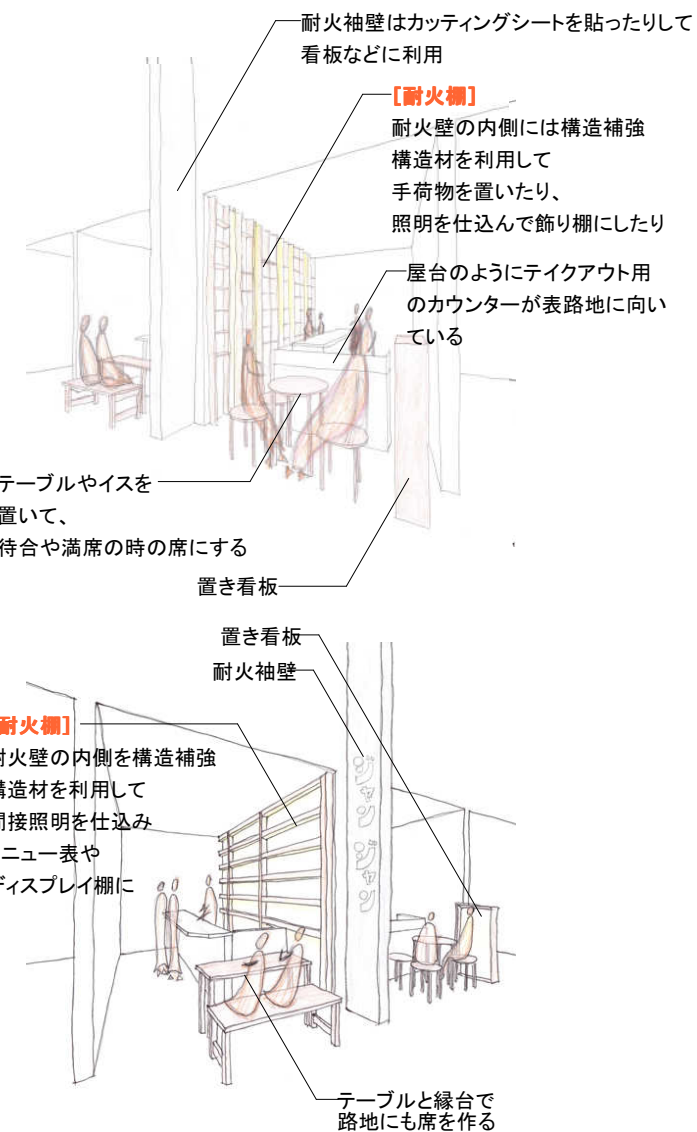
木密の危険

- ・燃えやすい木造建築物が密集しているため、火が起ると火が燃え広がりやすくなる。
 - ・耐震性能が不安な古い木造建築物の地震時の倒壊、それによる避難経路、救出経路の閉塞。
 - ・通路幅の不足による緊急時の緊急車両の通行が阻害される。
- 等が一般的に言われる木密の災害に危険な要素としてあげられる。

仮に現行の建築基準法に従って木造建築物、老朽化した建築物を耐火建築物に建て替えると、セットバックによる道路拡幅などによって木密の魅力である密集感・路地が失われてしまう。木密の魅力を保ったまま、成立するリノベーション方法を模索する。この計画は全壊・全焼を防ぐ目的の段階的に対応策と位置付け、法整備や個々の建築物の改善などは継続して、より安全な街づくりを行っていくものとする。

建築側からの解決策

「連担建築物設計制度」の適用などにより、地域全体で耐震基準等のルール、防火区画の設定を決めておくことで、クリアランス型ではなく、個々の建築でリノベーション対応できる**[部分的な改修]**で対応する。これにより、急激な街並みの変化を回避し、徐々に災害に強い木密へと生まれ変わることができる。



防火区画

すべての建築を耐火建築にすることが望ましいが、段階的な対応として地域全体を一体的に見立てて防火区画を形成する。

要所の建築の外壁一面のみを耐火壁とする事、補助金を用いる事等で経済的・空間的負担を軽減する。

耐火壁

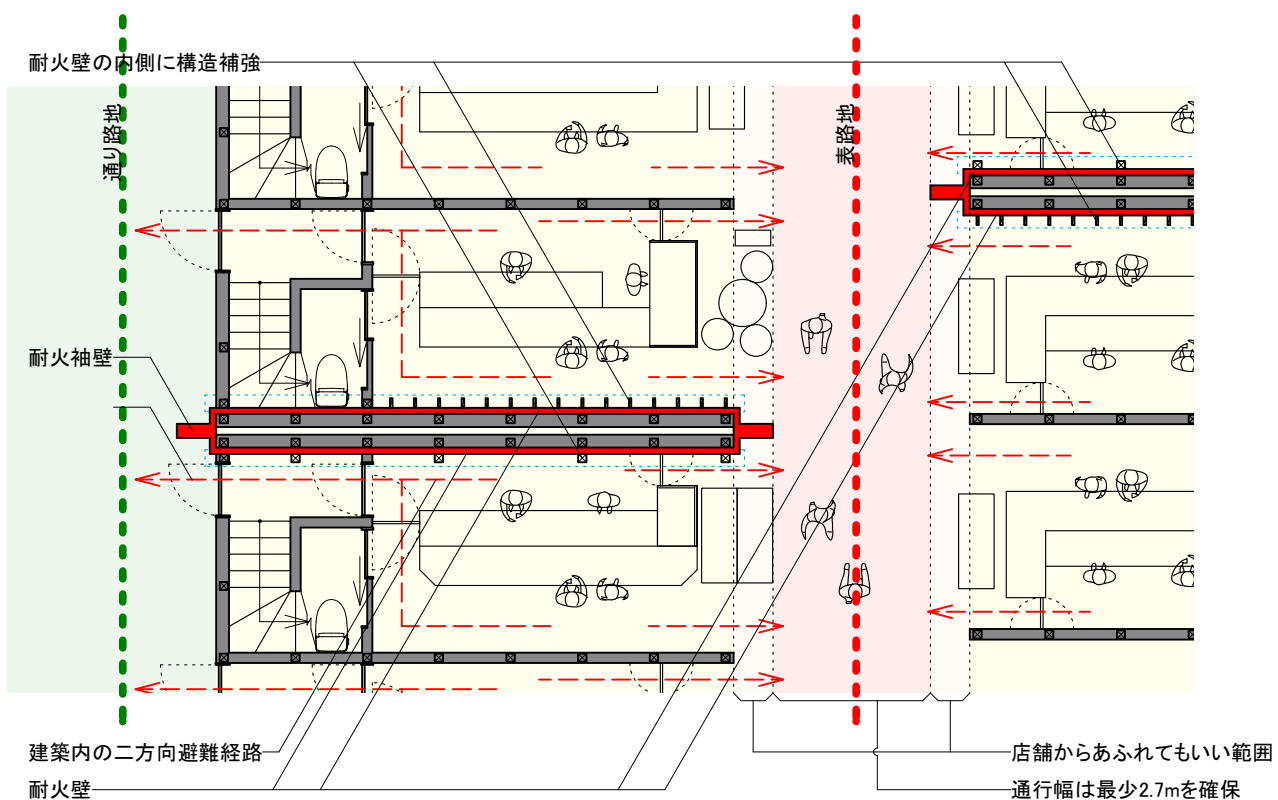
個々の建築に設置される耐火壁を挟むように構造補強を施すことで、インテリアに現れる構造材は露出として、デザインに取り入れる。誰が見てもどれが耐火壁かわかるようになる。

耐震改修

個々の建物で金物などによる耐震改修を行い、地震時の倒壊を防ぐ。

表路地の魅力

表路地に店舗内の雰囲気が溢れ出してくるのも、木密の魅力である。歩車分離の原則を災害時にも適用して、可搬式の消防設備、救急設備の充実と使用訓練の実施を図ることで、区域内の消火、救助用の通路は車の通行に頼らない最少2.7mに設定する。これにより、看板・縁台等をはみ出しても良い範囲を各路地ごとに設定する。



住民の意思疎通による解決策

表路地

木密への来訪者（観光客など）の動線として、多くの店舗が面している人通りの絶えないメインの通り。

裏路地

作業用・搬入用・コミュニティの日常生活用として、少数の店舗しかなく人通りの少ない通りや住宅街に面した通り。

通り路地

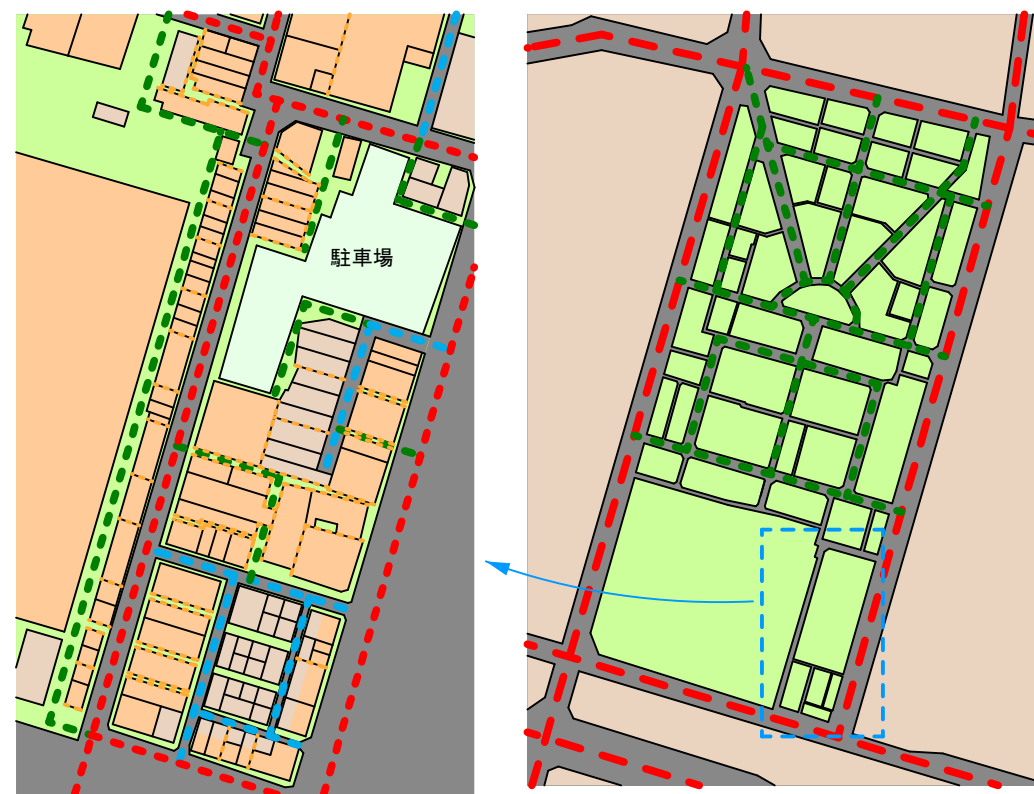
避難用の動線として、敷地の隙間を縫うように走る隙間を行き止まりなく通れるようにしておく。

二方向避難

表通り、裏通り、通り路地によってネットワークされた路地空間は、災害時には、建物内から外部への二方向避難、敷地から防火区画外への二方向避難を確保することになる。

また、裏路地によって建築物の個々の部分的な改修に対応することもできる。公的なものから私的な敷地を差し出すものまで、地域での共通認識がなければ成り立たない防災計画ではあるが、これがコミュニティの防災リテラシーをあげることになる。

これらの路地をコミュニティの共通認識として共有し、災害時にはコミュニティの主導で避難、救助を行えるようにする。日常はこれらの路地が複雑なルートを作りだし、敷地が溶け合うような**[ごちゃごちゃ感]**、折れ曲がりながら続く**[ドキドキ感]**を演出する。



地域外とのかかわり

- ・観光客の宿泊するホテルからも木密の魅力である通り路地を体験できるような作りとする。
- ・空き家があれば観光客用の宿泊施設にリノベーションする。
- ・オフィス街にはない木密のヒューマンスケールの温かみに癒される近隣のサラリーマンの来訪。

近代化の停滞する中でこそ、木密・路地の価値があり、合理性を求めた近代的空間が**[木密]**の魅力を引き出すことになる。木密の魅力を維持発信することで文化を守り、今後も外部からの来訪者を招きにぎわいを受け継いでいく。

耐火欄